

警報器（ガスもれ・火災・一酸化炭素の発生をお知らせ）



暮らしみまもる警報器
家族に確かな安心を



お値段については当社
担当者にご相談下さい。

警報器について

火災は“早期発見”“早期避難”が大切。
東京ガスの警報器が、いち早く異常をお知らせします。

万が一、火災が発生した際は、早期発見・早期避難がなによりも大切なこと。住宅用火災・ガス・CO警報器は「煙」または「熱」を感知して、火災を警報音と音声でいち早くお知らせします。

また、ガス漏れや不完全燃焼による一酸化炭素もセンサーでチェック。昼夜問わず、ご家族のみんなの安心をしっかりと見守ります。



壁掛けタイプ



天井付タイプ

CO（一酸化炭素）検知機能付き警報器をおすすめします。

建物火災の死亡原因で最も多いのはCO（一酸化炭素）中毒（注）です。

建物火災による死者のうち、ほぼ4割がCO中毒・窒息で亡くなっています。

CO検知機能の付いた警報器なら、火災の早期発見につながるとともに、CO中毒による事故を防止することができます。

東京ガスグループがおすすめする警報器は、CO検知機能付きを多数ラインアップしております。

注）CO（一酸化炭素）中毒とは
CO（一酸化炭素）は血液中で酸素を運搬する役割をするヘモグロビンと結び付きやすい性質があります。COを吸い込むと体内に酸素を供給することができなくなり、頭痛やめまいなどの症状が現れ、最悪の場合、死に至ることもあります。

出典：令和2年度消防白書（令和元年中）

一酸化炭素中毒を防ぐためにCO機能付警報器がおすすめ

死因別死者発生状況

建物火災の死亡原因



❖ 火災警報器の仕組み

2006年6月より賃貸や持ち家にかかわらず、全国の全ての新築住宅への設置が義務付けられている火災警報器には、煙を感知する「煙式」と、熱を感知する「熱式」があります。煙式タイプは住居スペースで煙を感知すると警報音が鳴り、火事の発生を知らせてくれます。熱式タイプはキッチンなど大量の煙や湯気が滞留することがあるスペースでも使用可能で、一定の温度に達すると警報音が鳴ります。

ただし、火災報知器だけでは、ガス漏れは検知できません。



❖ ガス警報器の仕組み

ガス警報器は、ガス設備の老朽化やソフトコード等の接続具が劣化してガスが漏れた場合でもガス漏れを早期に検知できる機器です。「都市ガス用」と「LPガス用」があります。

また、一酸化炭素(CO)を検知するCO警報器もあります。一酸化炭素は、換気が不十分であったり、ガスが燃えるのに必要な酸素が不足した場合に、不完全燃焼を起こし発生する毒性の強い気体です。しかも無味無臭のため気づきにくいという特徴があるので、すばやく危険を知らせてくれるCO警報器の役割は大きいといえます。

